

第4学年 国語科学習指導案

日 時 平成21年9月10日(木) 5校時
児 童 男4名 女5名 計9名
指導者 館澤 宗則

- 1 単元名 場面をくらべて読もう(光村図書 4年上)
教材名 「一つの花」(物語)

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、以下の新学習指導要領の領域の目標と内容を具現化する学習内容である。

1 目標

- (3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。

2 内容

C 読むこと

- (1) ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。

オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。

[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]

- (1) イ(カ) 表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解し、調べる習慣を付けること。

本単元「場面をくらべて読もう」は、キーワードに気を付ける読み方を知り、場面意識をもって登場人物の様子や気持ちを読みとって、戦争時の親子を描いた作品世界に迫ることをねらいとしている。

本教材「一つの花」は、戦争体験が急速に衰退している日本の国において、体験の一つのドラマとして子ども達に共感させることのできる戦争文学である。この作品には、戦場や空襲のような凄惨な描写はないが、当時の社会情勢や生活の様子が如実に表れている描写がたくさん含まれている。

その代表例が、物が不足している中での発せられる「一つだけ…」という言葉である。この「一つだけ…」というキーワードで物語は進んでいく。「一つだけよ…」という母親の口癖をしっかりと覚えてしまったゆみ子に、将来の不安を感じる両親。最後に「一つだけのお花…」といいながら一輪のコスモスをわたし、戦争に行ってしまう父親。そして、たくさんのコスモスに包まれた家に明るく生活する10年後の平和な時代。これらの場面を叙述を基に比べながら読みとることによって、こういう時代が確かにあったということを認識し、平和の重みを実感し平和を守っていくことの大切さに気付いていくような学習展開ができる教材である。

(2) 児童について

4月に行った意識調査では、「国語の学習は楽しいですか?」という質問に全員肯定的な回答をしている。そして「どんな学習をしたとき、書かれている内容が分かりますか?」という質問に対しては、

音読をしているとき・気持ちが書かれているところに線を引いてさがしたときに多くの回答がよせられた。このことから、サイドラインや書き込みの手法は、読みとる手立てとして子どもたちの中に定着しつつあることがわかる。

児童はこれまで物語文として「三つのお願い」「白いぼうし」を学習してきた。「三つのお願い」では、行動や言動を根拠にしながら登場人物の気持ちを想像する学習に取り組んできた。「白いぼうし」では、松井さんの人柄や場面の様子を想像しながら、ファンタジーの世界に親しんできた。

情報の取り出しであるサイドラインは、ある程度的確に引けるようになってきた。課題に沿ってまとめる手がかりになる書き込みは、「うれしい…。悲しい…。かわいそう…。」等単純に気持ちだけを書くものから、気持ちから自己の感想に広がったり、別の表現で気持ちを表したり等、広がりのある差はあるができるようになってきている。ただ、自分の考えを発表することを苦手とする児童が多いため、他の児童の意見を取り入れながらの自分の読みを深めていくことがなかなかできないでいた。そのため、ノートを交換するなどして、みんなの考えを互いに交流できる場の設定を行ってきた。

本単元では、書く活動によってまとめた内容を交流し、友だちの意見を聞きながら自分の読みをさらに深めていく段階まで進めていきたい。

(3) 指導にあたって

つかむ段階では、子どもたちの初発の感想をもとにしながら課題を考えさせ学習計画をたてさせたい。

ふかめる段階では、書きこみをしながら課題に沿ってまとめさせ、友だちの考えと交流しながら読みを深めさせたい。また、戦争時代と今子どもたちが生きている時代を対比させながら、平和な時代に生きていく・平和な時代をつくっていくことの大切さを感じ取らせたい。

まとめる・ひろげる段階では、ゆみ子に手紙を書くことを通して、これまでの読みのまとめとし、読みとったことを確認する場としていきたい。

読みとるための書く活動としては、サイドライン・書き込み・課題のまとめとする。サイドラインを引くことが苦手な児童には、具体的な指示による支援をする。書き込みについては、叙述を基に自分の考えを書くだけでなく、互いに交流したことを記録したり、修正したりしてもよいこととする。

課題のまとめでは、板書をつかった交流で課題にせまる語句やキーワードを抜き出しヒントとしたい。

また、各自のまとめが終了後、読みを深めるための交流の場を工夫していきたい。友だちのまとめのよいところ・にているところ・ちがっているところ・取り入れたいこと等の視点で検討し、自分の読みをさらに深めていく時間も保証してやりたい。

3 単元目標

【関心・意欲・態度】

- 戦争時代の様子や家族の心情を想像しながら、意欲的に読もうとする。

【読むこと】

- 登場人物の心情を、キーワードなどに気をつけて想像しながら読むことができる。(読ウ)
- 物語の題名にこめられた作品の思いについて自分なりの考えを持ち、友だちの考えと比べることができる。(読オ)

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- 辞書を利用して、分からない言葉を調べることができる(伝(1)イ(カ))

段階	時間	学習活動(○)と支援の工夫(・)	評 価
第一次 つかむ	1 1	<p>「一つの花」を読み学習の見通しをもつ</p> <p>○ 難語句や新出漢字の読み方を確認しながら、「一つの花」を通読し、初発の感想を書く。</p> <p>書 初発の感想</p> <p>○ 感想を書き、それを交流することによって学習の計画を立てる。</p>	(関) ゆみ子がくらしした時代に関心をもち、初発の感想をもっている。 (ノート)
第二次 ふかめる	1 1 1 1 1	<p>登場人物の思いや願い、情景を場面ごとに読み進める</p> <p>○ ゆみ子が「一つだけ」を覚えてしまった理由を考え、戦時下の生活の厳しさを想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当時の様子が分かる叙述に、書き込みをさせ、「一つだけ」の言葉につながりがあることに気づかせる。 <p>書 サイドライン・書き込み・課題のまとめ</p> <p>○ 両親の会話や父親の行動を手がかりにゆみ子への愛情や将来を心配に思う気持ちを想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 父母の言動と「高い、高いをする」行動のつながりを考えさせる。 <p>書 サイドライン・書き込み・課題のまとめ</p> <p>○ 戦争がはげしくなった世の中の様子を想像し、ゆみ子におにぎり全部食べさせてしまった母親の気持ちを想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ じょうぶでない父が戦争に行かなければならない理由を考えさせる。 <p>書 サイドライン・書き込み・課題のまとめ</p> <p>○ コスモスを手わたして戦争に行く父の思いや願いを想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 父がゆみ子のためにコスモスをつんできたきたわけを考えさせる。 ・ コスモスは咲いていた場所に注目させる。 <p>書 サイドライン・書き込み・課題のまとめ</p> <p>○ 十年後の平和な生活の様子とゆみ子の成長した姿を見ている母の気持ちを想像する。</p>	<p>(読) 戦時下の厳しい生活状況を表す叙述を手がかりにして、当時の様子を想像し、ゆみ子が「一つだけ」の言葉を覚えてしまった理由に結びつけて考えている。 (ワークシート・発表・ノート)</p> <p>(読) 父母のゆみ子に対する気持ちが表れている叙述を見つけ、子どもへの愛情や将来の不安を想像している。 (ワークシート・発表・ノート)</p> <p>(読) 戦争が激しくなったことが分かる叙述を見つけ、母の気持ちを想像している。 (ワークシート・発表・ノート)</p> <p>(読) 「一つの花」に願いをこめて出征していく父のゆみ子に対する気持ちを想像している。 (ワークシート・発表・ノート)</p> <p>(読) 平和で幸せな時代を表す叙述を見つけ、母の気持ちを想像し</p>

ふかめる	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ お昼が一種類だけではないことに着目させる。 ・ コスモスがいっぱいさいているわけを考えさせる。 <p>書 サイドライン・書き込み・課題のまとめ</p> <p>○ 作品の中でくりかえし出てくる大事な言葉や題名について考え、作者の思いを想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「一つだけ」「一つの」という言葉がそれぞれ異なる意味合いや思いを象徴していることに気付かせる。 ・ 題名が「一つのおにぎり」などではなく、なぜ「一つの花」なのか考えさせる。 <p>書 ワークシート・課題のまとめ</p>	<p>ている。</p> <p>〈ワークシート・発表・ノート〉</p> <p>(読) キーワードを手がかりにしなが ら、これまでの読みを振り返り、作者の思いを想像している。 〈ワークシート・発表・ノート〉</p>
第三・四次 まとめ ・ ひろげる	1	<p>読みとったことを登場人物への手紙という形でまとめる。</p> <p>○ 自分の読みの深まりを確認して、ゆみ子への手紙を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 父親からゆみ子へという設定で、手紙を書かせる。 <p>書 手紙</p> <p>○ 手紙を読み合い、読んだ感想を書いたり発表したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちの考えと自分の考えを比べさせ、さまざまな考えがあることに気付かせる。 ・ 自分たちの生活と当時の生活を比べさせ、平和の大切さに気付かせる。 	<p>(読) 手紙を書くことを通して読み取ってきたことをまとめている。 (手紙)</p> <p>(読) 友だちとの感想の違いに気付いている。〈発表・ノート〉</p>

5 本時の指導

(1) ねらい

コスモスをゆみ子に手わたして、戦争に行く父の思いや願いを想像することができる。

〈読み取るための書く活動〉

- 父親の気持ちが分かる叙述にサイドラインを引き、その時の気持ちを想像して書き込む。
- 課題に沿ったまとめを、板書を参考にしながら書くことができる。

(2) 具体の評価規準

おおむね満足 (B)	努力を要する児童への支援
<ul style="list-style-type: none"> ・ コスモスの花をもらってゆみ子が喜ぶ姿を見て、よかったと思っている父の気持ちを想像している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゆみ子の「にっこり」に着目させる。 ・ ゆみ子の喜ぶ姿の叙述に着目させる。

(3) 展開

段階 時間	学習活動と予想される児童の反応	支援の工夫(・)と評価(◎)
つ か む 5 分	<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>コスモスを手わたし、戦争に行くときのお父さんの気持ちを想像しよう。</p> </div> <p>○ 音読をしましょう。ゆみ子やお父さんの行動はどこかさがしながら聞きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両親がゆみ子にどんな不安を抱いていたか想起させる。 ・ 学習計画に基づいて指名読み。
ふ か め る 25 分	<p>3 課題を追究する。</p> <p>○ お父さんの気持ちが分かる文にサイドラインを引きましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>書く活動 お父さんの気持ちが分かる文にサイドラインを引く。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「みんなおやりよ母さん。おにぎりを一。」 ・ わすれさられたようにさいていたコスモスの花を… ・ 「ゆみ。さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだよう一。」 ・ お父さんはそれを見てにっこり笑うと、何も言わずに、汽車に乗って行ってしまいました。 ・ ゆみ子のにぎっている一つの花を見つめながら一。 <p>○ お父さんの気持ちを書きこみましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>書く活動 サイドラインを引いた所に、お父さんの気持ちを書き込む。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 書き込んだことを発表しましょう。 ・ こまったなあ。自分は食べなくていいから、みんなゆみ子におやりよ。 ・ 何かないかなあ。こんなさびしい場所にコスモスの花があった。よかった。これをゆみ子にあげよう。さあ急ぐぞ。 ・ コスモスをお父さんだと思って大事にするんだよ。 ・ 笑顔が見られてよかったなあ。それだけでいいよ。じゃあ行って来るからね。もうあえないかもしれないけど、元気だね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お父さんの行動や言動に着目させる。 ・ 引けない子には具体的に指示をする。 ・ 早く終わった人は、隣などとシートを見せ合って確認する。 ◎ 父の気持ちが分かる文にサイドラインを引いている。 〈ワークシート〉 ・ 書けない子には具体的に指示をする。 ・ 発表の中からまとめのキーワードとなる言葉を板書していく。 ・ コスモスはどんな場所にさいていたのか考えさせたい。 ・ コスモスにはどんな願いが込められたのか考えさせたい。 ・ なぜゆみ子ではなく、花をじっと見つめながら行ってしまったのか、考えさせたい。

ふ か め	<ul style="list-style-type: none"> ゆみ子を笑顔にしてくれたのは、このコスモスの花なんだなあ。食べ物でなくて花なんだなあ。成長したなあ。 <p>○ まとめを書きましょう。</p>	<p>◎ 想像できる父の気持ちを書き込むんでいる。〈ワークシート〉</p>
25 分	<p>書く活動 コスモスを手わたして、戦争に行ってしまう父の気持ちをまとめる。(1)</p> <p>ゆみ子が泣き出してしまったときは、こまったなあと思った。何かないかなあときがしていたら、忘れ去られたようにさいているコスモスの花を見つけた。</p> <p>このコスモスを一輪だけゆみ子にあげたら、喜んでくれた。もしかしたらもう会えなくなるかもしれないけど、最後に笑ってくれてよかったなあ。今まで食べ物でしか喜んでくれなかったけど、コスモスの花でも喜んでくれた。成長したなあ。このコスモスは大事にしてほしい。</p>	<p>◎ 喜んでくれたゆみ子を見て、よかったと思っている父の気持ちを想像している。〈ノート〉</p>
ま と め る	<p>4 本時の学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ノートを交換しながらみんなのまとめを交流しましょう。 ○ 友だちのまとめを読んでの感想を発表しましょう。 ○ まとめを確認しましょう。 <p>書く活動 コスモスを手わたして戦争に行ってしまう父の気持ちをまとめる。(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 書き終わった人からノートを交換し内容を確認し合う。 よかったところ、にているところ、ちがっているところ、などを発表させる。 書き足したり、直させたりする。
15 分	<p>○ 今日、学習したところを音読しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習計画による指名読み。

(4) 板書計画

課題

一つの花

今西 祐行

コスモスを手わたし、戦争に行ってしまうお父さんの気持ちを想像しよう。

「みんなおやりよ母さん。おにぎりよ。」

・こまったなあ。・また、はじまったよ…。

・自分は食べなくていいから、みんなゆみ子におやりよ。

わざわざされたようにさいていたコスモスの花を…

・何かないかなあ。

・こんなさびしい場所にコスモスの花があった。

・よかった。これをゆみ子にあげよう。さあ急ぐぞ。

「ゆみ。さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだよう。」

・コスモスをお父さんだと思って大事にするんだよ。

・お花を一つだけあげよう。

お父さんはそれを見てにっこり笑うと、何も言わずに、汽車に乗って行ってしまいました。

・笑顔が見られてよかったなあ。それだけでいいよ。

・じゃあ行って来るからね。

・もう会えないかもしれないけど、元気だね。

ゆみ子のにぎっている一つの花を見つめながら―。

・ゆみ子を笑顔にしてくれたのは、このコスモスの花なんだなあ。

・食べ物でなくて花なんだなあ。成長したなあ。

まとめ

ゆみ子が泣き出してしまったときは、こまったなあと思った。何かないかなあ…：とさがしていたら、わすれ去られたようにさいていたコスモスの花を見つけた。

このコスモスを一輪だけゆみ子にあげたら、喜んでくれた。もしかしたらもう会えなくなるかもしれないけど、最後に笑ってくれてよかったなあ。今まで食べ物でしか喜んでくれなかったけど、コスモスの花でも喜んでくれた。成長したなあ。このコスモスは大事にしてほしい。